

## メタノール-コリノイドタンパク質 Co-メチルトランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-1992

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** メタノールからメタノール特異的コリノイドタンパク質 (MtaC) へのメチル基の移動を触媒する酵素は、メタノールからのメタン生成に関与しています。コリノイドタンパク質のメチル化には、中心のコバルトがCo(I)状態である必要があります。メチル化の過程でコバルトはCo(III)状態に酸化されます。遊離コバラミン (cob(I)alamin) は、*in vitro*でコリノイドタンパク質の代わりに使用できます。酸素や他の酸化剤によって不活性化され、ATPと水素の触媒量によって再活性化されます。

**別名** メタノールコバラミンメチルトランスフェラーゼ; メタノール:5-ヒドロキシペンジミダゾールコバミドメチルトランスフェラーゼ; MT 1 (あいまい); メタノール-5-ヒドロキシペンジミダゾールコバミド Co-メチルトランスフェラーゼ; mtaB (遺伝子名)

### 製品情報

**形態** 液体または凍結乾燥粉末

**EC番号** EC 2.1.1.90

**CAS登録番号** 86611-98-5

**反応**  $\text{メタノール} + a [\text{Co(I) メタノール特異的コリノイドタンパク質}] = a [\text{メチル-Co(III) メタノール特異的コリノイドタンパク質}] + \text{H}_2\text{O}$

**備考** このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

### 保管・発送情報

**保存方法** 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。